

公益社団法人 日本船舶海洋工学会 平成25年度（第118期）事業報告

（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

日本船舶海洋工学会は、船舶及び海洋工学に関する学術技芸を考究し、船舶の性能及び安全性向上、並びに、海洋の開発利用及び環境保全を図ることにより、我が国の発展に寄与すると共に、我が国の国民生活の向上を図ることを目的としている。この目的を達成するため、会員を含む広く一般国民を対象とした公益目的事業として、調査研究事業ならびに啓発広報事業を行っている。平成25年度において実施された事業について、事業区分ごとに以下に示す。

I 調査研究事業

【1】学術講演会

1. 春季講演会

平成25年5月27日、28日、広島国際会議場において、平成25年度春季講演会を開催した。全国から約320名の参加者があり、第1回日韓ジョイントセッション、特別企画「海事産業の未来と理系女子」を行うとともに、学会賞受賞論文の特別講演(4件)、一般公演(101件)、オーガナイズド・セッション(5セッション、33件)、若手公演(31件)の活発な発表・討論があり、懇親会(186名)を開催し、盛会裏に終了した。講演会論文集(CD-ROM)を400部発行した。

2. 秋季講演会

平成25年11月21日、22日、大阪府立大学I-site なんばにおいて、平成25年度秋季講演会を開催した。全国から約370名の参加者があり、招待講演(1件)、一般公演(126件)、オーガナイズド・セッション(2セッション、11件)、ポスターセッション(13件)の活発な発表・討論があり、懇親会(133名)を開催し、盛会裏に終了した。講演会論文集(CD-ROM)を400部発行した。

【2】論文集発行

1. 論文審査委員会

委員数：柏木正委員長ほか22名

主として国内からの投稿論文に対して論文審査を行い、有益な論文を集めて日本船舶海洋工学会論文集第17号、第18号を発行した。また第2回論文審査委員会において平成26年日本船舶海洋工学会賞(論文賞4件)および奨励賞2件を選考した。

2. 日本船舶海洋工学会論文集発行

表1-1のとおり日本船舶海洋工学会論文集第17号を平成25年6月に、第18号を平成25年12月に刊行した。

表1-1 日本船舶海洋工学会論文集発行

	論文数	頁数	発行部数
論文集第17号 (平成25年6月)	21	193	1,000
論文集第18号 (平成25年12月)	23	236	1,000
計	44	429	2,000

【3】英文論文集 (Journal of Marine Science and Technology) の発行

1. JMST 編集委員会

委員数：藤久保昌彦委員長ほか34名。平成25年8月より梅田直哉委員長に交代した。

世界各国からの120編以上の学術投稿論文に対して論文審査を行ない、有益な論文を40編集めてJMST Vol.18 No.2～Vol.19 No.1を発行した。

2. JMST 刊行

JMST Vol.18 No.2～Vol.19 No.1の4冊を、表1-2のとおり刊行した。

表1-2 英文論文集(JMST)刊行

	論文数	頁数	発行部数
Vol.18 No.2 (平成25年6月)	10	130	550
Vol.18 No.3 (平成25年9月)	13	160	550
Vol.18 No.4 (平成25年12月)	9	138	550
Vol.19 No.1 (平成26年3月)	8	123	550
計	40	551	2,200

【4】調査・研究活動

1. 研究企画委員会

委員数：谷澤克治委員長ほか12名

学会の研究活動全般を統括し、研究活性化戦略を企画・推進することを目的として、研究企画委員会を以下のとおり開催し、下記事項を実施した。

回	期日	場所	出席者数	報告件数
第24回	25.4.18	日本海事協会	11名	6件
第25回	25.8.7	日本船舶海洋工学会	13名	11件
第26回	25.12.20	日本船舶海洋工学会	10名	13件

実施事項：

- ・分野研究活動の報告及び検討
- ・新規研究委員会の設置に関する審議(5件)
- ・分野研究企画部会、研究会等の予算に関する審議
- ・総合的な研究活性化策及び研究戦略の検討
- ・編集委員会との連携強化

2. 分野研究企画部会

性能・運動分野

委員数：松本光一郎部会長ほか9名

船舶及び海洋構造物等の性能・運動分野についての研究動向や産業界のニーズを踏まえ、我が国として取り組むべき重点課題の設定と研究活動方針の策定、実施体制の検討を行った。

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第22回	25.6.27	水産工学研究所	13名	11件
第23回	25.10.17	広島大学(東広島)	10名	7件
第24回	26.1.28	東京海洋大学(越中島)	11名	11件

実施事項：

- ・推進性能・運動性能合同研究会の企画，実施
- ・重要研究課題の議論，および新研究委員会の企画
- ・新規シンポジウムの企画・検討
- ・ITTC活動情報の共有化についての議論

海洋工学・海洋環境分野

委員数：多田茂委員長ほか10名

海洋工学および海洋環境分野の研究動向を調査・整理するとともに，今後の研究を企画・推進・支援するため，海洋工学・海洋環境分野研究企画部会を下記のとおり開催した。

回	期日	場所	出席者数	議事
第24回	25.4.3	大阪大学	8名	3件
第25回	25.7.18	I-siteなんば	7名	7件
第26回	25.11.29	沖縄県久米島	7名	7件
第27回	26.3.17	東京大学	8名	6件

実施事項：

- ・海洋工学・海洋環境合同研究会の企画，実施
- ・第24回海洋工学シンポジウム（26.3.13～14）の開催

構造・強度，材料・溶接分野

委員数：藤久保昌彦委員長ほか9名

構造・材料研究や共通構造規則に関し，材料・溶接研究会および各支部にある構造研究会の活動状況の情報交換を実施した。

回	期日	場所	出席者数	報告件数
第1回	26.3.27	日本船舶海洋工学会	7名	10件

実施事項：

- ・各研究会における活動（総計22回）の情報交換
- ・構造と材料を横断する研究テーマの探索
- ・他分野との研究連携に関する提案

設計・機装分野

委員数：荒井誠委員長ほか10名

造船設計部会，船体機装工作部会，機関機装部会，電気機装部会の4部会の連携を図った。プロジェクト研究を企画し，研究委員会を設置した。造船設計・生産技術研究会とともに第11回造船設計シンポジウムを開催した。

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第1回	25.9.26	九州大学西新プラザ	7名	2件

実施事項：

- ・第11回造船設計シンポジウム（25.9.26）の実施
- ・新規プロジェクト研究テーマと研究委員会の企画（P-45 バラスト管装置の設計基準全面改訂）

工作分野

委員数：青山和浩委員長ほか11名

船殻工作分野に関わる諸問題の解決及び情報交換を目的とし，建造革新研究会の活動進捗確認及び活動方針検討を行った。

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第1回	25.5.10	新大阪丸ビル会議室	15名	5件
第2回	25.10.15	新大阪丸ビル会議室	11名	5件
第3回	26.2.11	新大阪丸ビル会議室	8名	6件

情報技術分野

委員数：梶原宏之委員長ほか10名

造船産業の情報技術に関する調査研究を目的として以下を実施した。

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第1回	25.6.4	サノヤス水島	10名	3件
第2回	25.10.9	海上技術安全研究所	8名	4件

第3回 26.1.22 三菱重工長崎 9名 3件

実施事項：

- ・プロジェクト研究会（P40）活動に関する審議
- ・次期プロジェクト研究委員会に関する審議

3. プロジェクト研究委員会

今期は8件のプロジェクト研究委員会を実施した。このうち今期に活動を終了した研究委員会は4件（P-34, P-35, P-36, P-38），新たに活動を開始した研究委員会は1件（P-41）である。今期の委員会活動は以下のとおりである。

P-34 船舶操縦性予測モデルの高度化に関する研究委員会

委員数：安川宏紀委員長ほか21名

現状の操縦運動予測モデルをもとに，異なる載荷状態の船，横傾斜を伴う船舶にも適用できる予測モデルの構築と検証，浅水域を航行する船の運動予測モデルの提案，水槽試験による流体力係数データベースの作成等を目的とする。

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第4回	25.7.4-5	北海道大学	16名	17件
第5回	25.12.3-4	西日本流体技研	17名	14件
第6回	26.3.7-8	広島大学	16名	20件

実施事項：

- ・船舶操縦運動数学モデルの高度化に関する検討（4自由度操縦運動数学モデルの検討等）
- ・操縦流体力微係数のデータベース構築に関する活動（浅水域における操縦流体力微係数のデータ収集等）
- ・水槽試験技術の情報交換（小型模型船による自由航走試験について等）

P-35 船体構造強度評価のための荷重推定手法の高度化に関する研究委員会

委員数：深沢塔一委員長ほか16名

既存の荷重評価手法における実運航時の技術的問題点を明らかにし，それらを考慮したより高度な荷重評価体系を提案することを目的として，委員会を以下のとおり開催し，下記事項を実施した。

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第7回	25.6.20	大阪府大中之島サテライト	12名	4件
第8回	25.9.26	日本船舶海洋工学会	10名	3件
第9回	25.12.18	日本船舶海洋工学会	16名	4件
第10回	26.3.10	金沢市近江町交流プラザ	10名	3件

実施事項：

- ・船体構造強度評価に及ぼす操船影響についての討議
- ・高周波数振動成分が船体疲労強度に及ぼす影響に関する討議
- ・国際基準の動向と技術的課題の討議

P-36 船舶の消火設備設計指針改訂研究委員会

委員数：荒井誠委員長以下6名

昨年度に引き続き，現「船舶消火装置の設計指針」を，最新の規則改正や新技術を反映させたものとする改訂作業を行った。若手・中堅設計者の学習書も兼ねた設計手引書となる設計指針としてまとめることを目指した。

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第1回	25.5.31	日本海事協会本部	8名	5件
第2回	25.7.31	ウイリング横浜	6名	5件
第3回	25.9.17	三菱重工本社	7名	5件
第4回	25.9.26	九州大学西新プラザ	25名	2件
第5回	26.2.27	川崎重工神戸工場	25名	2件

実施事項：

- ・過去の船舶火災事例の分析
- ・最新規則要求内容の調査
- ・最新技術動向の調査と指針への反映
- ・消火設備設計指針〔改訂版〕の作成と審議

P-37 海中システム技術・海洋環境管理技術に関わる震災・津波・原発事故の復旧・復興支援と防災に関する研究委員会

委員数：加藤直三委員長ほか 22名

大震災・津波・原発事故の復旧・復興支援と防災に関する調査検討を行い、海からの視点、特に海中システム技術・海洋環境管理技術の観点から、中長期的な研究開発、救援・復興体制、防災対策、原発事故後の海洋監視体制について、技術的検討を行った。

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第4回	25.04.03	大阪大学	15名	2件
第5回	25.09.25	東京海洋大学	11名	3件
第6回	25.11.28	大阪大学	10名	4件

実施事項：

- ・3つの分科会（水中の映像データ・測量データ・環境データを安全に取得できるシステム、画像解析による藻場のモニタリング、海中ロボットによる放射能計測）にて調査を実施
- ・各分科会の成果を第24回海洋工学シンポジウムのOSにて公表

P-38 JSQSが定める品質標準の現状調査研究委員会

委員数：青山和浩委員長ほか19名

JSQSで規定している品質標準を、現在の造船技術の精度レベルと比較検証するため、造船各社の各事業所でデータ収集、集計を行った。

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第4回	25.6.6	三井造船千葉	41名	1件

実施事項：

- ・JSQS項目についての計測実施結果の報告

P-39 「居住区設計指針」研究委員会

委員数：荒井誠委員長以下17名

船舶居住区の各区画・各装置の設計指針を、相互の関連性も含めて有機的・横断的に纏め直し、特に若手・中堅技術者に総合的な設計指針書の形で提供することを目的として研究活動した。

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第1回	25.7.4	博多駅前会議室	8名	5件
第2回	25.9.18	博多駅前会議室	6名	6件
第3回	25.9.25	九州大学西新プラザ	25名	1件
第4回	25.12.18	博多駅前会議室	6名	5件
第5回	26.2.27	川崎重工神戸工場	25名	1件

実施事項：

- ・居住区一般仕様についての造船所アンケート調査
- ・関連適用規則調査
- ・居住区設計指針全12章の素案作成と審議

P-40 「船舶3D製品情報の共有と高度利用のための標準フォーマットの策定」研究委員会

委員数：濱田邦裕委員長ほか27名

船舶のライフサイクルに関する情報を、3次元製品情報を核としたデータ交換によって、迅速かつ有効に活用できる海事産業内情報交換標準を策定することを目的とし活動した。

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第2回	25.6.4	サノヤス造船水島	24名	3件
第3回	25.10.9	海上技術安全研究所	24名	4件
第4回	26.1.28	三菱重工長崎	22名	1件

実施事項：

- ・造船所外での3D情報高度利用法の検討
- ・造船所内での3D情報高度利用法の検討
- ・関連技術の調査

P-41 JSQS（艤装関係）2015年版改訂研究委員会

委員数：篠田岳思委員長ほか19名

JSQS（艤装関係）改訂版の発行を27年度末までに行うことを目標にして以下の4テーマを設定して調査研究を進めた。

- ・JSQS標準の見直し変更
- ・外注品の精度標準の策定検討
- ・PSPC対策
- ・技能教育

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第1回	25.6.7	九大博多駅オフィス	6名	6件
第2回	25.7.18-19	川重坂出	20名	4件
第3回	25.11.21-22	佐世保重工	23名	4件

4. ストラテジー研究委員会

戦略的課題について研究する3つのストラテジー研究委員会を実施した。このうち今期に活動を終了した研究委員会は1件（S-11）、今期から新たに活動を開始した研究委員会は1件（S-12）である。今期の委員会活動は以下のとおりである。

S-10 調和化船体構造規則（H-CSR）研究委員会

委員数：藤久保昌彦委員長ほか15名

調和化船体構造規則（H-CSR）案について、学術的立場から技術課題を抽出し、合理的規則化のための提言を行うことを目的として、委員会を以下のとおり開催し、下記事項を実施した。

回	期日	場所	出席者数	報告件数
第5回	25.6.19	大阪中央電気倶楽部	15名	5件
第6回	25.8.30	JMU本社	15名	7件
第7回	25.11.18	JMU本社	12名	5件
第8回	26.3.3	キャンパスイノベーションセンター東京	14名	16件

実施事項：

- ・H-CSR案および技術背景資料（TB）に関する審議
- ・IACS説明会での意見表明
- ・2nd draft に関するIACSへの意見発信
- ・技術背景文書（TB report）の解説書作成

S-11 我が国の海洋産業に関する戦略検討委員会

委員数：高木健委員長ほか8名

我が国の海洋産業について議論の場や情報を提供するとともに、学会としての提言をまとめていくことを目的として、委員会を以下のとおり開催し、下記事項を実施した。

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第1回	25.7.29	JAMSTEC 東京事務所	3名	3件
第2回	26.3.11	JAMSTEC 東京事務所	6名	6件

実施事項：

- ・秋季講演会オーガナイズド・セッション「我が国の海洋産業を考える（その2）」の企画・実施

S-12 IMO 最低出力ガイドライン策定方針研究委員会

委員数：安川宏紀委員長ほか16名

IMOで審議されている主機最低出力暫定ガイドラインに関して、我が国が実施すべき研究開発の具体的な方向性を策定・提案することを目的とし、委員会を下記の通り開催し、下記事項を実施した。

回	期日	場所	出席者数	発表件数
---	----	----	------	------

第1回 26.3.19 日本造船工業会 17名 8件
実施事項：

- ・暫定ガイドラインの評価法による判定結果に関する審議
- ・不規則波中航走シミュレーションモデルに関する検討・討議

5. 研究会

船舶海洋工学に係わる情報交換および技術交流を支援・促進するため各種研究会を設置し、研究発表およびシンポジウム開催等の活動を実施した。現在設置の研究会は次のとおりである；推進性能研究会、運動性能研究会、材料・溶接研究会、建造革新研究会、造船設計・生産技術研究会、海洋工学研究会、海洋環境研究会、情報技術研究会。

推進性能研究会および運動性能研究会

会員：土井康明会長ほか119名、松本光一郎会長ほか157名
船舶・海洋構造物の推進・運動性能に関して広く情報交換を行い、この分野の研究交流を促進して、関連分野の発展に寄与することを目的として、以下の合同研究会を実施した。

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第22回	25.6.27-28	水産工学研究所	36名	11件
第23回	25.10.17-18	広島大学(東広島)	51名	14件
第24回	26.1.28-29	東京海洋大学(越中島)	62名	11件

実施事項：

- 下記企画を合同研究会にて開催し、集中的な討議を行った。
- ・特別企画「CFD特集」
 - ・特別企画「EEDI特集」
 - ・特別企画「運航時のGHG削減に関する規制枠組み」
 - ・施設見学(水産工学研究所：水槽設備、東京海洋大学：先端ナビゲートシステム)
 - ・その他一般研究発表と討議

材料・溶接研究会

会員：粟飯原周二会長ほか29名

材料・溶接・破壊力学分野について、最新研究の情報交換、討議を行った。

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第22回	25.8.1	東京大学山上会館	20名	3件
第23回	25.11.7	東京大学山上会館	28名	4件
第24回	26.3.14	東京大学工学部3号館	20名	5件

実施事項：

- ・大型コンテナ船のアレスト設計、脆性き裂伝播の評価法検討
 - ・構造物の脆性破壊評価法や材料の破壊靱性評価法検討
 - ・高圧ガスパイプラインの地震動による座屈、高速延性き裂伝播の研究に関する情報交換
- その他：
- ・溶接協会主催のシンポジウム「溶接鋼構造物における脆性亀裂伝播アレスト研究の最前線」(25年11月8日)に参画。

建造革新研究会

会員：青山和浩会長ほか38名

船舶建造の船殻分野に関わる諸問題の解決及び情報交換を行うことを目的とし、3つのワーキンググループにより下記の活動を行った。

回	期日	場所	出席者数	発表件数
総会	25.6.6	MES千葉	41名	5件
WG1:				
第1回	25.6.7	MES千葉	10名	3件
第2回	25.9.19-20	函館どつく	11名	5件
第3回	25.12.5-6	JMU津	9名	6件

第4回 26.3.27-28 KHI 坂出 10名 7件
WG2:

第1回	25.6.7	MES千葉	13名	3件
第2回	25.9.12-13	サノヤス水島	9名	5件
第3回	25.12.16-17	佐世保	9名	6件
第4回	26.3.6-7	SHI-ME	10名	5件

WG3:

第1回	25.6.7	MES千葉	13名	3件
第2回	25.9.19-20	JMU呉	11名	6件
第3回	25.12.5-6	MHI下関	12名	6件
第4回	26.3.13-14	JMU磯子	11名	6件

実施事項：

- ・JSQS改訂版の素案作成(WG1)
- ・船舶海洋工学シリーズ：造船工作法、生産管理見直し(WG2)
- ・熱変形、歪直しに関する検討(WG3)
- ・建造革新研究会シンポジウムの開催

「鋼船工作における品質管理の現状と将来への期待」

期日：平成25年11月28日

場所：溶接会館(東京)、参加人数：43名、講演5件

JSQSのあるべき姿を検討するために実施したJSQSに関する現状の調査とともに、溶接外観基準、溶接施工品質と塗膜性能の関係などの溶接構造物の品質基準に関する研究を報告した。今後の海洋構造物等の建造への展開も踏まえ、今後の造船技術における工作精度標準、品質管理のあるべき方向を議論した。

造船設計・生産技術研究会

会員：荒井誠会長ほか4部会合わせて101名

船舶・海洋構造物の船体・機関・電装に係わる計画から設計・艤装工作に至るまでの過程における技術的諸問題を考究し、その成果を設計や生産に関する指針・基準として纏め、設計・生産技術の高度化を図ることを目的とした活動を展開した。第11回造船設計シンポジウム(25.9.26, 九大西新プラザ)において成果を発表した。

回	期日	場所	出席者数	発表件数
造船設計部会：				
第118回	25.9.27	九大西新プラザ	26名	5件
第119回	26.2.27-28	川重神戸	23名	5件
船体艤装工作部会：篠田岳思部会長				
第24回	25.7.18-19	川重坂出	19名	5件
第25回	25.11.21-22	佐世保重工	17名	5件
機関艤装部会：井上順広部会長				
第15回	25.11.21-22	三井千葉	24名	5件
電気艤装部会：金子仁部会長				
第13回	25.11.21-22	川重坂出	23名	7件

海洋工学研究会

会員：永田修一会長ほか103名

当該分野の研究活動活性化と若手研究者の育成を目的として、研究会および部会を以下のとおり開催し、下記事項を実施した。

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第22回	25.4.3	大阪大学	10名	3件
第23回	25.7.18	I-site なんば	12名	5件
第24回	25.11.27	久米島	11名	3件
第25回	26.3.17	東京大学	15名	5件
構造部会：				
第27回構造部会(25.8.5)、第28回構造部会(25.11.13)				
第29回構造部会(26.3.28)を開催。				

実施事項：

・新分野開拓のための調査派遣支援として、海洋石油ガスの探査と生産に関する最新技術動向調査のため、若手技術者1名をOTC-ASIA（クアラルンプール、26.3）に派遣

海洋環境研究会

会員：多部田茂会長ほか70名

海洋環境の調査・保全・修復、海洋環境変動の評価・予測等に関する研究を推進・支援するため、海洋環境研究会を下記のとおり開催した（海洋工学研究会との合同部会）。

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第24回	25.4.3	大阪大学	7名	5件
第25回	25.7.18	I-site なんば	8名	4件
第26回	25.11.29	沖縄県久米島	11名	3件
第27回	26.3.17	東京大学	12名	3件

実施事項：

- ・第25回研究会において若手研究者・学生の交流会を実施
- ・OCEANS'14（台北）で実施する海洋環境オーガナイズドセッションの準備を行った
- ・次期プロジェクト研究委員会「海洋エネルギー施設の環境影響評価に関する研究会」の準備を行った

情報技術研究会

会員：青山和浩会長ほか43名

目的：造船の情報技術に関する調査研究

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第24回	25.6.3-4	サノヤス水島	23名	3件
第25回	25.10.8-9	海技研	21名	3件
第26回	26.1.27-28	三菱長崎	26名	3件

実施事項：

- ・機関紙「すうちせいぎょ」の発行
- ・情報技術（業界、他業界）に関する話題の提供と審議
- ・ICCAS2013（釜山）への参加、情報提供及び審議

6. 浮体式洋上風力特別検討委員会

浮体式洋上風力発電の実現の観点から、技術的課題について調査を行い、実証試験の支援や今後の実用化に資する検討・提言を行うことを目的とし、具体的には、設計技術および設計ガイドライン・国際規格作り、水槽試験法、環境影響評価法に関する検討を行った。

特別検討委員会の幹事会（鈴木英之委員長ほか14名）の下に、3つのWG及び学会横断的な検討委員会を設置して活動した。

(1) 幹事会

各WGの進捗状況確認、及び各WGへの提言等を実施した。

回	期日	場所	出席者数	資料数
第1回	25.05.28	広島国際会議場	12名	5件
第2回	26.03.27	日本海事協会	12名	15件

(2) 設計技術開発WG

極値波浪特性の考え方、連成応答解析法、国際規格の調査、浮体式洋上風力の海外動向調査を実施した。

回	期日	場所	出席者数	資料数
第1回	25.09.03	東京大学	11名	3件
第2回	25.12.10	東京大学	13名	8件
第3回	26.02.21	東京大学	8名	7件

(3) 水槽試験技術WG

浮体式洋上風力に関する国内外の水槽試験データを整理した。

回	期日	場所	出席者数	資料数
第1回	25.07.11	日本船舶海洋工学会	9名	6件
第2回	25.11.27	日本船舶海洋工学会	6名	4件

(4) 環境影響評価WG

国内外の環境影響評価項目について調査を行った。

(5) 関連学協会と連携委員会

機械系学会と連携を行った。浮体式洋上風車に関する研究会を開催して知見の集積を行った。

回	期日	場所	出席者数	資料数
第1回	25.09.03	東京大学	9名	3件
第2回	25.12.10	東京大学	9名	3件
第3回	26.02.21	東京大学	8名	4件

【5】国際学術協力等

1. 日韓ジョイントセッション

平成25年5月27日に広島国際会議場の講演会第3会場で開催された平成25年春季講演会において、第1回日韓ジョイントセッションを開催した。セッションテーマを「Offshore Floating Wind Turbine」とし、日韓2名ずつ、洋上風力発電に関する開発動向、技術課題、製造設置規則などの講演を英語で行った。

続いて平成25年11月7日には、韓国蔚山大学の産学協力館国際会議室で開催された韓国造船学会（SNAK）の秋季講演会において、第2回日韓ジョイントセッション（韓国名「韓日共同シンポジウム」）を開催した。セッションテーマを「Future Ship」とし、日韓2名ずつ、将来の船舶に関する開発動向や技術課題などについての講演を行った。

2. Pan Asian Association of Maritime Engineering Societies (PAAMES)

平成25年12月4日に中国・上海で開催されたPAAMES/AMEC (Advanced Maritime Engineering Conference) のISC (International Standing Committee) Meeting に大和裕幸会長、深沢塔一理事を派遣し、26年10月に中国・杭州で開催される6th PAAMES/AMEC2014の運営に関する議論を行った。またPAAMESの運営を効率化し活動をより活性化させるため、PAAMES web-site を立ち上げた。

3. WECC (World Engineering Conference and Convention)

平成27年11月30日～12月2日に京都で開催される予定の世界工学会議(WECC2015)（実施主体：日本学術会議・日本工学会）に関して、テーマ選択、セッション構成などの準備作業分担を行った。

4. ブラジル造船造機学会との協力協定

ブラジル造船造機学会（SOBENA）と平成25年11月に学術交流協定を結び、技術交流を活性化することとした。

5. 国際対応

国際的な諸活動に対応するため下記の委員会を開催した。

(1) JTTC委員会

委員長：柏木正委員長ほか31名

ITTC（国際試験水槽会議）への対応および船舶性能に関わる調査研究を行った。

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第23回	25.6.28	水産工学研究所	14名	9件
第24回	25.10.17	広島大学工学部	18名	11件
第25回	26.1.28	東京海洋大越中島キャンパス	18名	8件

実施事項：

- ・第27期ITTC実施内容ならびに進捗状況の確認
- ・EEDI等の重要事項に関する最新情報の確認
- ・EEDIに関するITTC-AC委員会の対応の検証

(2) JSSC委員会

委員長：藤久保昌彦委員長ほか20名

ISSC（国際船舶海洋構造会議）への対応および船体構造と安全性に関わる調査研究を行った。

回	期日	場所	出席者数	発表件数
---	----	----	------	------

第 22 回 25.5.28 広島国際会議場 13 名 5 件
実施事項：

・ ISSC 2015 技術委員会に関する情報交換

(3) 国際基準部会

IMO の規則委員会に RINA から提案された旋回時横傾斜角基準の見直し提案について、国際基準部会で審議を行い、当学会としての見解を RINA に回答した。また、同じく RINA より照会のあった Seating Space Width in Lifeboats の見直し案についても検討を行った。

【6】シンポジウム等の開催

1. World NAOE Forum 2013 & International Symposium on Marine and Offshore Renewable Energy

期日：平成 25 年 10 月 28 日～30 日

場所：笹川記念会館（東京）

第 3 回目となる世界船舶海洋工学フォーラムは、日本船舶海洋工学学会と RINA の共催により、海洋再生可能エネルギーをテーマとして、1 日目をフォーラム形式、2,3 日目をシンポジウム形式で、洋上風力、波力、海流、潮流、海洋温度差などに関する研究成果の報告と議論が活発に行われた。

参加人数：170 名、招待講演 18 件、講演論文 39 件

2. 第 24 回海洋工学シンポジウム

期日：平成 26 年 3 月 13 日～14 日

場所：日本大学駿河台キャンパス

共催：日本海洋工学学会

海底鉱物資源、洋上風力の開発に関する基調講演とともに、海洋再生可能エネルギー、津波防災、モニタリング、環境影響、海洋教育など多様な分野で多数の論文が発表された。

参加人数：172 名、基調講演 2 件、発表論文 89 件

【7】海外共同研究促進事業

国際的な共同研究を促進し、あわせて研究者・技術者の国際化に向けた人材育成を目的として、若手研究者 3 名を短期に海外派遣し共同研究調査を実施した。

【8】後援および協賛

関連学協会の講演会・シンポジウム等に 80 件の協賛（一部は後援）を行った。また日本学術会議が主催する講演会等を共催した。

【9】支部活動

1. 東部支部

会員および広く公益に資する目的で、海事関連の最新テーマに関するワークショップを 2 回開催した。また構造に係わる技術・研究活動のため構造研究会を実施した。

(1) 第 1 回東部支部ワークショップ

「運航支援技術の最前線—リモートセンシングの活用を探る」

期日：平成 26 年 1 月 20 日

場所：東京大学生産技術研究所 コンベンションホール

参加人数：50 名（内、非会員 20 名）

講演数：6 件、懇親会参加者：18 名

(2) 第 2 回東部支部ワークショップ

「新騒音規制への対応」

期日：平成 26 年 2 月 14 日

場所：東京海洋大学 越中島会館講堂

参加人数：90 名（内、非会員 56 名）

講演数：12 件、懇親会参加者：68 名

(3) 東部支部構造研究会

回	期日	場所	出席者数	講演数
---	----	----	------	-----

第 32 回	25.4.10	横浜国立大学	28 名	4 件
第 33 回	25.7.10	東京大学	29 名	4 件
第 34 回	25.10.23	三井造船	25 名	4 件
第 35 回	26.1.16	海上技術安全研究所	30 名	5 件

2. 関西支部

(1) 特別講演会

「海岸工学における沿岸防災研究の動向—船舶分野との連携への期待をこめて—」（青木伸一大阪大学教授）

期日：平成 26 年 1 月 17 日

場所：神戸クリスタルタワー、出席者：68 名

海岸工学分野における津波防災研究の動向の紹介、および沿岸防災に関する問題点について講演。また船舶分野との連携の可能性や今後期待される取り組み等について議論された。

(2) シンポジウム

・第 1 回シンポジウム「海洋新産業の創生・振興と人材育成」

期日：平成 25 年 12 月 20 日

場所：新大阪丸ビル別館 出席者：54 名

講演 4 件、パネルディスカッション

海洋における石油・天然ガス開発経験が乏しいわが国産業界がどのようにこれらの課題に取り組むべきか問題提起し、解決策について討議された。

・第 2 回シンポジウム「EEDI/EEOI に対する海事産業の取り組み—現状と今後の課題—」

期日：平成 26 年 2 月 3 日

場所：神大梅木 Y ホール 出席者：52 名

講演 5 件、パネルディスカッション

EEDI について技術的課題だけでなく規制の枠組み・船級協会や船社の立場からみた課題、さらに今後ルール化が見込まれる EEOI について解説を行った。

(3) KFR（関西船舶海洋流体力学研究会）

第 321 回例会（平成 25 年 7 月 17 日）

場所：神戸大学深江キャンパス、出席者：42 名

題目：CFD の基礎から実用まで

第 322 回例会（平成 25 年 9 月 24 日）

場所：大阪大学中之島センター 出席者：43 名

題目：今さら聞けない自航試験

第 323 回例会（平成 25 年 2 月 3 日）

場所：神大梅木 Y ホール 出席者：52 名

第 324 回例会（平成 26 年 3 月 11 日）

場所：大阪府立大学学術交流会館 出席者：36 名

題目：基礎から学べる主機エネルギー

(4) KSSG（関西船体構造研究会）

第 1 回（平成 25 年 5 月 30 日）

場所：新大阪丸ビル 出席者：20 名

第 2 回（平成 25 年 8 月 21 日）

場所：大阪大学コモニースト 出席者：20 名

第 3 回（平成 25 年 11 月 8 日）

場所：サノヤス造船 出席者：19 名

第 4 回（平成 26 年 3 月 17 日）

場所：新大阪丸ビル別館 出席者：19 名

3. 西部支部

(1) 西部支部セミナーの開催

「船舶の波浪中抵抗増加低減技術に関するセミナー」

EEDI_weather の船速低下係数に関連して船舶の波浪中抵抗増加推定の現状と課題、また既に実船に適用されている抵抗増加低減技術について情報交換を行った。

期日：平成 26 年 3 月 10 日

場所：九州大学西新プラザ
 参加人数：40名，講演：8件
 (2) 西部支部構造研究会
 回 期日 場所
 第25回 25.5.14 JR博多シティ9F 会議室
 第26回 25.9.19 呉森沢ホテル
 第27回 26.1.21 レオプラザホテル佐世保
 講習会：「使い易い船」
 今後の造船業を考える機会を得ることを目的として開催。
 期日：平成26年3月14日
 場所：広島大学東広島キャンパス ライブラリーホール

参加人数：73名，講演：3件
 (3) 西部支部性能研究会
 「Workshop on Environmental Issues of Ships and Related Technologies」
 船舶の環境問題と関連技術に関して講演を行ってもらい、関連分野の研究や技術動向に関する情報交換を行った。
 期日：平成25年11月29日，11月30日
 場所：広島大学工学部
 参加人数：30名，講演：7件

II 啓発・広報事業

【1】能力開発センター

1. 能力開発センター運営委員会
 委員数：池田良徳委員長ほか5名
 能力開発センターを構成する技術者資格支援委員会、CPD委員会、大学等教育支援委員会の活動を推進した。
2. 技術者資格支援委員会
 委員数：八木光委員長ほか1名
 技術士補（技術士第1次試験）の資格取得のための講習会を開催した。技術士一次試験の専門科目（機械とシステム、浮体の力学、計測・制御、材料・構造）について4名の講師による講習を行った。
 期日：平成25年6月6日～6月7日
 場所：ゆうぼうとカルチャープラザ
 後援：日本マリンエンジニアリング学会、日本造船工業会
 参加人数：6名
3. CPD委員会
 委員数：新宅英司委員長ほか4名
 継続的能力開発（CPD）ポイント蓄積システムの運用を行い、運営効率を改善するためシステムの見直しを行った。またCPDポイント制度の普及に努めた。
4. 大学等教育支援委員会
 委員数：馬場信弘委員長ほか6名
 日本技術者教育認定機構（JABEE）の動きに対応し、船舶海洋系大学の教育プログラムの、JABEE 認定に向けた支援を行った。

【2】海洋教育推進活動

1. 海洋教育推進委員会
 委員数：小林正典委員長ほか49名
 (1) 委員会の開催
 運営委員会、WG 戦略会議、支部委員会、フォーラム実行委員会を下記のとおり開催し、以下について審議した。
 - ・ 海洋教育推進委員会の運営方針
 - ・ 海洋教育フォーラム、海洋教育セミナーの計画・実施

期日	委員会名	出席者数
25.6.5	第12回運営委員会	5
25.6.5	第4回WG戦略会議	12
25.9.10	第13回運営委員会	5
25.9.10	東部支部委員会	10
25.9.30	第5回全体委員会	13
25.11.26	第14回運営委員会	4
25.11.26	東部支部委員会	11
26.2.25	第15回運営委員会	5
- (2) 海洋教育フォーラムと海洋教育セミナーの開催

- ・ 第8回東部支部海洋教育セミナー
 期日：平成25年9月30日
 場所：東京海洋大学品川キャンパス
 プログラム：講演8件 参加者数：15名
- ・ 第4回関西支部海洋教育セミナー
 「すいすい水力推進船を作ってみよう！」
 期日：平成25年10月26日
 場所：神戸市立青少年科学館
 プログラム：講義、模型船作成 参加者数：30名
- ・ 第5回西部支部海洋教育セミナー
 「船舶海洋関連大学間交流会」
 期日：平成25年10月5、6日
 場所：今治造船株式会社西条工場
 プログラム：研究交流会、造船所見学会 参加者数：105名
- ・ 第5回海洋教育フォーラム
 「温度差に秘められた海のエネルギー」
 期日：平成25年11月24日
 場所：神戸市立工業高等専門学校
 プログラム：実験1件、講演1件 参加者数：12名
- ・ 第6回海洋教育フォーラム
 やさしい海洋講座「海のエネルギーを電気に変える」
 期日：平成26年2月15日
 場所：呉市海事歴史科学館大和ミュージアム
 プログラム：講演6件 参加者数：102名
- ・ 第7回海洋教育フォーラム
 海を知ろう講座「私たちの海～エネルギーと資源と防災と～」
 期日：平成26年2月22日
 場所：東北工業大学八木山キャンパス
 プログラム：講演5件 参加者数：55名
- ・ 第8回海洋教育フォーラム
 やさしい海洋講座：「海のエネルギーを電気に変える」
 期日：平成26年3月15日
 場所：記念艦「三笠」内 講堂
 プログラム：講演4件 参加者数：169名
- (3) 海洋教育に関する広報活動
 - ・ 海洋教育に関するイベントの紹介記事を学会誌に掲載した。
 - ・ 海洋教育イベント情報をホームページに掲載した。
 - ・ 「海の不思議箱」のコンテンツを追加・充実した。
- (4) 海洋教育に関する企画
 - ・ 愛知県名古屋市長、刈谷市で開催された「さんフェア」に出張し、海洋教育実習船に関する調査を行った。
 - ・ 海洋教育教材集第1～3巻を増刷し、各方面への普及活動を行った。

- ・国立科学博物館の2013夏休みサイエンススクエアにおいて、海と船の工作ひろば「船の進む向きはどう変えるのかな？」を実施した。
- ・教諭および教諭志望の学生を対象として、海洋教育夏季実習を実施した。

2. 青少年啓蒙活動

(1) 東部支部おもしろ船教室

期日：平成25年8月9日

場所：横浜港，横浜シンポジウム

参加者数：99名

プログラム：港内遊覧船マリーンシャトル（764GT）による横浜港内見学，実験を主体とした講演

(2) 西部支部夏休みおもしろ船教室

期日：平成25年8月10日

場所：広島大学

参加者数：60名

プログラム：自然エネルギーを利用したエコロジー船の講義と体験学習

(3) その他啓蒙活動

そのほか下記の活動を共催・後援した。

- ・大阪大学「海の日イベント」水槽公開と船の工作(25.7.15)
- ・海技大学校「海技丸」体験航海と講演会 (25.7.21, 7.30)
- ・神戸大学体験型海洋セミナー「海と船に親しむ！体験航海，深江丸」(25.8.24-25)
- ・'13水中ロボットコンベンション in JAMSTEC (25.8.30-9.2)
- ・北九州市制50周年記念事業「水中ロボットフェスティバル2013」(25.10.26-27)

3. 一般向け講演会の開催

表2-1のとおり造船系9大学にて小学生から高校生を含む一般向けの講演会等を開催した。本事業は日本造船工業会より補助金を受けた。

表2-1

大学	開催日/場所	参加者
東京大学	平成26年2月15日 東京夢の島マリーナ	荒天で中止
東京海洋大学	平成25年7月15日 越中島キャンパス	126
	平成25年7月26日 越中島キャンパス	100
横浜国立大学	平成25年7月15日 横浜国立大学キャンパス	75
	平成25年8月24日 横浜国立大学キャンパス	60
東海大学	平成26年2月22日 由比町	多数
大阪大学	平成25年6月20日 兵庫県立長田高等学校	50
	平成25年7月20日 大阪大学（長田高等学校生）	10
	平成26年2月2日 神戸国際展示場2号館 （サイエンスフェア）	40
	平成26年3月 高校等に書籍寄贈	
大阪府立大学	平成25年10月5日 大阪桐蔭高校	30

	平成25年11月3日 和歌山県立向陽高校	317
	平成26年1月7日 同志社女子高等学校	80
広島大学	平成25年7月17-18日 山口高校・徳山高校・岩国高校	120
	平成25年9月26日 高松第一高校	40
九州大学	平成25年5月19日 伊都キャンパス	151
長崎総合科学大学	平成25年4月27, 28日 長崎水辺の森公園・常磐中央水路	多数

4. 夏の学校

2泊3日で、性能・運動分野および構造強度・材料溶接分野の専門家に講義を依頼し、若手技術者の専門教育の充実、および交流を促進する「夏の学校」を以下のように開催した。

(1) 性能・運動分野

期日：平成25年9月11日～9月13日

場所：九州大学伊都キャンパス（福岡県）

参加者数：33名

プログラム：特別講義2件，基礎講義2件

(2) 構造強度・材料溶接分野

期日：平成25年9月6～8日

場所：セミナーハウス湘南台（神奈川県）

参加者数：26名

プログラム：講義9件

【3】会誌発行

会員および広く一般に海事関連の最新情報を提供し、また学会活動を広報・周知するため、学会誌「KANRIN」を隔月に発行した。

1. 学会誌編集委員会

委員数：白木原浩委員長ほか57名

・会誌発行の全体計画および調整のため下記幹事会を開催した。

回	期日	場所	出席者数
第33回	25.5.29	広島大学工学部	11
第34回	25.9.21,22	倉敷シーサイドホテル	13
第35回	25.12.26	日本船舶海洋工学会	12
第36回	26.3.18	九州大学（箱崎）	13

・特集等の企画・編集のため、各支部単位の編集委員会を随時開催した。

・委員会のコミュニケーションを改善し、会誌編集を活性化するため、第34回以降の幹事会には開催場所の支部編集委員からのオブザーバー参加を定例化し、研究企画委員のオブザーバー参加も実施した（第34回）。

・会誌「KANRIN」第48号～53号を各支部編集委員会の分担により編集し、発行した。

2. 刊行

日本船舶海洋工学会誌「KANRIN」第48号から53号までの6冊を表2-2のとおり刊行し会員に配布した。

表2-2 日本船舶海洋工学会誌「KANRIN」発行

会誌・号・発行月	本文頁数	発行部数
KANRIN 第48号 (平成25年5月)	76	5,150
KANRIN 第49号 (平成25年7月)	133	5,100
KANRIN 第50号 (平成25年9月)	75	5,100
KANRIN 第51号 (平成25年11月)	74	5,100
KANRIN 第52号 (平成26年1月)	54	5,050
KANRIN 第53号 (平成26年3月)	58	5,100
計	470	30,600

【4】電子情報サービス

会員をはじめとする国民一般への広報・情報発信として、学会ホームページの管理運用を行った。また会員の利便性向上の一環として、会員サイトのアーカイブ情報の充実を図った。

1. 情報管理委員会

委員数：日野孝則委員長ほか3名

下記のとおり4回の情報管理委員会を開催し、主としてホームページの運用に関する審議を行った。

回	期日	場所	出席者数
第1回	25.6.6	日本船舶海洋工学会	10
第2回	25.9.25	日本船舶海洋工学会	8
第3回	25.12.17	日本船舶海洋工学会	8
第4回	26.3.11	日本船舶海洋工学会	6

2. 主な実施事項

- ・日本船舶海洋工学会ホームページの企画・管理・運用
- ・メールニュースNo.155～183の発行
- ・会員サイトのコンテンツの追加・充実
- ・英文ページのコンテンツ検討

【5】褒賞

日本船舶海洋工学会細則第33条から36条にもとづき、学会賞、船舶海洋技術賞等を授与した。

- 平成25年度春季講演会において、表2-3 のとおり日本船舶海洋工学会賞・日本造船工業会賞・日本海事協会賞を授与した。
- 平成25年度春季講演会において、第37回船舶海洋技術賞が前田久明君に授与された。
- 平成25年度春季講演会において、表2-4のとおり日本船舶海洋工学会奨励賞(乾賞)を授与した。
- 平成25年度春季講演会において、表2-5 のとおり日本船舶海洋工学会賞(著書・開発等)を授与した。
- 船舶海洋系大学および大学院(修士課程)の卒業生の中から成績優秀な者に表2-6のとおり、奨学褒賞を授与した。
- 商船高等専門学校等の卒業生の中から成績優秀な者に表2-7のとおり、奨学褒賞を授与した。
- 工業高等学校の卒業生の中から成績優秀な者に表2-8のとおり、奨学褒賞を授与した。

表2-3 論文賞

<p>日本船舶海洋工学会賞 日本造船工業会賞 論文名：船外機付き高速滑走艇の推進性能評価法の構築 受賞者：片山 徹 (大阪府立大)</p>
<p>日本船舶海洋工学会賞 日本海事協会賞 論文名：熱水鉱床開発用プラットフォームの位置保持性能評価 受賞者：湯川 和浩 (海上技術安全研究所), 南 佳成 (〃) 佐藤 宏 (〃), 大坪 和久 (〃), 谷口 友基 (〃)</p>
<p>日本船舶海洋工学会賞 日本造船工業会賞 論文名：水面衝撃に関する境界要素解析法 船首正面衝撃に関する数値シミュレーション 受賞者：木原 一 (防衛大)</p>
<p>日本船舶海洋工学会賞 日本海事協会賞 論文名：斜角探傷試験における欠陥同定のための 音源重ね合せ超音波伝播シミュレーションについて 受賞者：平澤 英幸 (川崎重工), 柴田 大貴 (日本海事協会) 前田 正広 (九州大), 吉川 孝男 (九州大)</p>

表2-4 奨励賞(乾賞)

<p>論文名：Onboard Measurement for a Container Ship in view of Container Load Condition 受賞者：黒田麻利子 (海上技術安全研究所)</p>
<p>論文名：流体構造連成解析の水面衝撃問題への適用性に関する一考察 受賞者：高見 朋希 (海上技術安全研究所)</p>

表2-5 著書・開発・発明賞

<p>日本船舶海洋工学会賞 題名：大幅な燃費向上を達成した両頭型電気推進フェリーの開発 受賞者：中谷 敏義 (中谷造船), 小瀬 邦治 (広島大学)</p>
<p>日本船舶海洋工学会賞 題名：ニッケル鉱運搬船に関する安全運航技術の開発 受賞者：木戸川充彦 (日本海事協会), 松本俊之 (日本海事協会)</p>

表 2-6 奨学褒賞 (大学, 大学校)

学校名, 学科名	受賞者
東京大学 工学部システム創成学科 大学院工学系研究科システム創成学専攻 大学院新領域創成科学研究科	小川 大智 三目 直登 中村 覚
横浜国立大学 工学部建設学科 大学院工学府システム統合工学専攻	高橋 健作 石橋 雄一
東京海洋大学 海洋工学部海事システム工学科 海洋工学部海洋電子機械工学科 海洋工学部流通情報工学科 海洋科学技術研究科海運ロジスティクス専攻	熊谷 慧 杉本 俊輔 藤川 慶央 高木 俊典
神戸大学 海事科学部海事技術マネジメント学科 海事科学部海洋ロジスティクス科学科 海事科学部マリンエンジニアリング学科 海事科学研究科	岡田 晃 岡山 芙有子 谷内 博行 布目 明弘
大阪大学工学部 地球総合工学科船舶海洋工学科目 大学院工学研究科地球総合工学専攻	高木 竜一 木村 亮太
大阪府立大学工学部 海洋システム工学科 大学院工学研究科航空宇宙海洋系専攻	澤野 陽介 重政 拓海
東海大学海洋学部 船舶海洋工学科	園田 理人
広島大学工学部 第四類輸送機器環境工学プログラム 大学院工学研究科輸送・環境システム専攻	石原 唯 伊藤 悠真
九州大学工学部地球環境工学科 船舶海洋システム工学コース 大学院工学府海洋システム工学専攻 総合理工学府大気海洋環境システム学専攻	山崎 竜司 湯浅 慶太 石 静
長崎総合科学大学 工学部船舶工学科 大学院工学研究科生産技術学専攻	河村 篤 甲村 和弘
海上保安大学校 本科第一群 本科第二群	酒居 瞭平 吉岡 翔平
海技大学校 海上技術コース (航海) 海上技術コース (機関)	楯 由香利 佐藤 博通

【6】シップ・オブ・ザ・イヤー2012

日本で建造された船舶の中から、技術的・芸術的・社会的に優れた船を選考して表彰するシップ・オブ・ザ・イヤーの23回目となるシップ・オブ・ザ・イヤー2012を選定した。

平成25年6月17日、応募作品の発表会と選考会が実施され、選考委員会において下記作品が各賞に選定された。平成25年7月25日に開催された海事三学会合同表彰式(海運クラブ)において、受賞作品の表彰式を行った。

シップ・オブ・ザ・イヤー2012	SOYO (双洋)
技術特別賞	白嶺
小型客船部門賞	あまのかわ
大型貨物船部門賞	M/V EMERALD ACE
小型貨物船部門賞	新進丸
漁船・作業船部門賞	かごしま丸

表 2-7 奨学褒賞 (商船高等専門学校)

学校名	受賞者
弓削商船高等専門学校 商船学科 航海コース 商船学科 機関コース	新田 浩貴 菅原 大貴
大島商船高等専門学校 商船学科 航海コース 商船学科 機関コース	古川 孝也 平原 秀基
富山高等専門学校 商船学科 航海コース 商船学科 機関コース	喜多條 裕希 中村 慎太郎
鳥羽商船高等専門学校 商船学科 航海コース 商船学科 機関コース	鳩山 勇太 西岡 明美
広島商船高等専門学校 商船学科 航海コース 商船学科 機関コース	浅野 仁 金川 静子

表 2-8 奨学褒賞 (高等学校)

学校名	受賞者
山口県立下関中央工業高等学校	下野 聖伍
高知県立須崎工業高等学校	佐々木 魁斗
長崎県立長崎工業高等学校	日高 泰文

【7】広報活動

船舶海洋工学に関するシンポジウムやワークショップにおいて、学会紹介パンフレットを配布し、広く学会活動の広報を行った。

【8】支部活動

1. 東部支部

(1) 若手研修・意見交換会

若手世代の親睦を深め、情報共有や問題意識の啓発のため若手研修会を開催した。

期日：平成25年9月13日～14日

場所：原燃輸送(株) 六ヶ所輸送事業所および日本原燃(株) 濃縮事業部・埋設事業部、参加人数：17名

核燃料輸送設備、使用済み核燃料処理施設の見学を行い、情報共有や意見交換を通して我が国のエネルギー政策について考える機会を得た。

(2) 海事産業へのお誘い

平成27年4月入社の大学生・大学院生を対象とした合同就職説明会を開催した。

期日：平成25年12月17日

場所：東京海洋大学 楽水会館

参加人数：112名、参加団体数：20団体

参加団体による個別説明会、概要説明パネルの展示を行い、海事産業の魅力を周知することに努めた。

(3) 東部支部情報管理委員会

会員等に対する情報提供として、支部ホームページの管理、メールニュースの発行を行った。

2. 関西支部

(1) 若手技術者研修会

委員数：長谷川会長以下10名

第1回見学

期日：平成25年6月20日、出席者：6名

場所：JMUアムテック、ディーゼル・ユナイテッド相生事業所
第2回見学および講演

- 期日:平成 25 年 6 月 21 日, 出席者:6 名
 場所:キャタピラー・ジャパン明石事業所・川崎重工業神戸工場
 第 3 回見学
- 期日:平成 25 年 9 月 10 日, 出席者:6 名
 場所:今治造船丸亀事業本部・川崎重工業坂出工場
 第 4 回見学
- 期日:平成 25 年 11 月 15 日, 出席者:7 名
 場所:サノヤス造船水島製造所・三井造船玉野工場
 第 5 回見学
- 期日:平成 25 年 12 月 2 日, 出席者:7 名
 場所:JMU 津事業所・本田技研工業鈴鹿工場
 第 6 回見学
- 期日:平成 26 年 1 月 20 日, 出席者:7 名
 場所:神戸製鋼所加古川製鉄所
- (2) 造船資料保存委員会
 委員数:内藤委員長以下 27 名
 第 1 回(平成 25 年 5 月 31 日)
 場所:神戸大学海事科学部 出席者:12 名
 第 2 回(平成 25 年 12 月 12 日)
 場所:神戸大学海事科学部 出席者:16 名
- (3) 関西シニア海事研究会
 研究会総会
 期日:平成 25 年 7 月 20 日
 場所:神戸クリスタルホール 出席者:50 名
- (4) 支部長賞
 支部長賞(1 件)を下記の通り授与した。
 新井 励(大阪府立大学):「ベトナム国ハロン湾における水上村小学生への環境教育活動」
- (5) セミナー・講習会
 見学会(平成 25 年 11 月 22 日)
 リチウム電気遊覧船あまのかわーイルミネーションクルーズ

- 参加者:51 名
 海事産業説明会(平成 25 年 12 月 7 日)
 場所:大阪産業創造館
 題目: 話題の海洋開発 ―課題と今後の技術者へ―
 島村好秀氏(三井海洋開発㈱)
 参加者:152 名 参加団体:17 団体
- (6) 海岸清掃
 期日:平成 25 年 10 月 6 日
 場所:神戸市須磨海岸 参加者:11 名
- (7) 学生会員募集
 学生会員勧誘のための学会紹介パンフレットを製作し、学生会員の拡大を図った。
3. 西部支部
- (1) 船舶海洋科学技術啓発広報活動奨励賞
 第 5 回西部支部運営委員会にて 4 件の応募の中から投票により船舶海洋科学技術啓発広報活動奨励賞を 2 件選出した。
 受賞者:陸田秀実(広島大学), 吉武朗(九州大学)
- (2) 広報編集委員会
- | 回 | 期日 | 場所 |
|--------|----------|-------------|
| 第 19 回 | 25.4.10 | 九州大学創造パビリオン |
| 第 20 回 | 25.7.24 | 九州大学創造パビリオン |
| 第 21 回 | 25.11.11 | 九州大学創造パビリオン |
| 第 22 回 | 26.1.29 | 九州大学創造パビリオン |
- このほか随時、電子メールにより学会誌の企画・編集に関わる審議を行った。
- (3) 電子情報委員会
 電子メールにより関連課題の審議を行った。
- (4) 広報活動など
 メールマガジン第 47 号～第 52 号を配信した。

III 事務報告

【1】 役員

平成 25 年度定時総会において以下の理事、監事が選任された。また平成 25 年度第 2 回定例理事会において理事の職務分担を決定した。

理事(会長)	大和 裕幸	理事(広報)	滝田 総一郎
理事(副会長)	横田 健二	理事(庶務)	西村 勝好
理事(副会長)	池田 良穂	理事(財務)	中村 容透
理事(副会長)	経塚 雄策	理事(企画)	佐藤 徹
理事(企画)	木戸川 充彦	理事(編集)	白木原 浩
理事(研究)	谷澤 克治	理事(情報)	日野 孝則
理事(学術)	柏木 正	監事	井上 四郎
理事(国際)	深沢 塔一	監事	瀬崎 良明
理事(学術)	安川 宏紀	監事	蛭田 啓一

【2】 会合

1. 定時総会

平成 25 年度(第 118 期)日本船舶海洋工学会定時総会を出席者 69 名(内書面による議決権行使 40 名, 定足数 43 名)のもとに下記のとおり開催し、平成 24 年度(第 117 期)事業報告(報告事項)および収支決算報告を審議して可決し、また細則の変更を決議し、平成 25～26 年度の役員(理事および監事)を選任した。

期日:平成 25 年 5 月 27 日 13:00～14:00

場所:広島国際会議場(広島市中区)

議事:

- 平成 24 年度(第 117 期)事業報告, 決算報告
- 細則の変更
- 平成 25～26 年度役員選任

2. 理事会

平成 25 年度(第 118 期)第 1 回定例理事会

日時:平成 25 年 4 月 26 日(金) 13:30～17:00

場所:日本船舶海洋工学会 会議室

出席:理事 13 名, 監事 2 名, 事務局 1 名

欠席:理事 2 名, 監事 1 名

主要議事:

- 平成 24 年度事業報告および決算報告
- 平成 25 年度事業計画および予算の修正
- 浮体式洋上風力特別検討委員会の設置
- 学会ホームページの管理に関する審議
- 内規の改正

平成 25 年度(第 118 期)第 2 回定例理事会

日時:平成 25 年 5 月 27 日(月) 14:40～16:20

場所:広島国際会議場 会議室

出席:理事 14 名, 監事 2 名, 事務局 1 名

欠席:理事 1 名, 監事 1 名

主要議事:

- 会長(代表理事), 副会長, 業務執行理事の選定

- (2) 第5回世界工学会議への協力に関する審議
 (3) 研究会シンポジウムの開催に関する審議
- 平成25年度(第118期)第3回定例理事会
 日時:平成25年7月24日(水)14:00~17:30
 場所:日本船舶海洋工学会 会議室
 出席:理事14名, 監事3名, 事務局1名
 欠席:理事1名
 主要議事:
 (1) 海外共同研究促進事業の実施に関する審議
 (2) 英文ジャーナル(JMST)出版契約に関する審議
 (3) 全国海洋開発人材育成センター設立構想に関する審議

- 平成25年度(第118期)第4回定例理事会
 日時:平成25年9月20日(金)14:00~17:30
 場所:中央電気倶楽部 会議室(大阪市)
 出席:理事15名, 監事3名, 事務局1名
 欠席:なし
 主要議事:
 (1) 海外共同研究促進事業の実施に関する審議
 (2) 平成26年度補助事業の申請に関する審議
 (3) 内規改定の審議
 (4) 業務執行状況報告

- 平成25年度(第118期)第5回定例理事会
 日時:平成25年12月9日(月)14:00~18:00
 場所:JR博多シティ 会議室(福岡市)
 出席:理事13名, 監事1名, 事務局1名
 欠席:理事2名, 監事2名
 主要議事:
 (1) 平成25年度収支中間報告に関する審議
 (2) プロジェクト研究委員会の設置に関する審議
 (3) 内規改定の審議
 (4) 世界船舶海洋工学フォーラムの開催計画に関する審議

- 平成25年度(第118期)第6回定例理事会
 日時:平成26年1月24日(金)13:30~17:30
 場所:佳水郷 会議室(加賀市)
 出席:理事11名, 監事2名, 事務局1名
 欠席:理事4名, 監事1名
 主要議事:
 (1) 平成26年度事業計画・予算に関する審議
 (2) プロジェクト研究委員会の設置に関する審議
 (3) 終身会員の推薦
 (4) 基本財産の運用に関する審議

- 平成25年度(第118期)第7回定例理事会
 日時:平成26年3月14日(金)13:30~17:30
 場所:中央電気倶楽部 会議室(大阪市)
 出席:理事14名, 監事2名, 事務局1名
 欠席:理事1名, 監事1名
 主要議事:
 (1) 平成26年度事業計画・予算に関する審議
 (2) 名誉会員・功労会員の推薦
 (3) 学会賞および船舶海洋技術賞の承認
 (4) 内規の修正に関する審議
 (5) 業務執行理事の報告

【3】会員の異動

1. 会員数推移

平成26年3月31日現在, 会員総数は個人会員4,486名, 賛助会員149団体, 計4,635となった。(表3-1)

表3-1 会員数推移

種別	前期末 (25年3月 31日)	当期末 (26年3月 31日)	減員	増員	増減
正会員	4,194	4,208	36	50	14
(内名誉会員)	(40)	(38)	2	0	-2
(内功労会員)	(55)	(59)	1	5	4
(内終身会員)	(937)	(908)	39	10	-29
(内シニア会員)	(100)	(93)	12	5	-7
学生会員	313	276	127	90	-37
賛助会員 特級	18	17	1	0	-1
1級	9	9	0	0	0
2級	11	10	1	0	-1
3級	111	113	0	2	2
個人	2	2	0	0	0
合計	4,658	4,635	165	142	-23

2. 功労会員の推薦

平成25年5月27日定時総会にて下記の5名が功労会員に推薦された。

荒井 誠 柏木 正 加藤 直三
 高木 健 吉川 孝男

3. 終身会員の推薦

理事会において下記10名の終身会員への推薦が承認された。

加藤 美志彦 友井 武人 廣津 深緑 大谷 昇一
 木曾 孝 川久保 善晴 玉井 正彦 日野 俊茂
 藤川 正剛 右近 良孝

【4】委員の委嘱

下記のとおり新たに委員を委嘱した。

1. 論文審査委員会

審査委員: 梶原宏之, 大塚耕司, 田村兼吉, 庄司りり, 濱田邦裕,
 今北明彦, 松尾宏平, 篠田岳思, 田中健太郎, 安東潤, 土井康明,
 高木健, 安川宏紀, 鈴木克幸, 大沢直樹, 丹羽俊男, 松浦正己,
 大橋訓英, 山口悟, 新宅英司, 木村元, 榊原繁樹, 柳原大輔
 査読委員: 伊藤政光

2. 英文論文編集委員会

梅田直哉, Emilio F. Campana, 安川宏紀, 高木健, Philippe Rigo,
 金湖富士夫, 高崎講二, 岩下英嗣, Jerzy Matusiak, Marcelo
 Neves, Celso Kazuyuki Morooka, Arne Fredheim, 青山和浩,
 北村充, Jean David Caprace, 福戸淳司, 篠田岳思, 今井昭夫,
 Jin Wang, 田島博士, Hajime Yoshida, Tetsugo Fukuda,
 Frederick Stern, Jin Kim, Baoshan Wu, 吉川孝男, 遠山泰
 美, Sang-Rai Cho, Patrick Kaeding, 梶原宏之, 鈴木克幸,
 深沢塔一

3. 学会誌編集委員会

杉本 圭, 荻須俊輔, 河村嘉将, 高木祐介, 黒田貴子, 福岡邦孝
 恵藤浩明, 山鹿伸幸, 施 建剛

4. 情報管理委員会

日比茂幸

5. 海洋教育推進委員会

大槻康明, 高橋洋子

6. 能力開発センター運営委員会

池田良穂, 木戸川充彦, 深沢塔一, 佐藤徹, 滝田総一郎

7. 能力開発センター技術者資格支援委員会

上野道雄

8. 国際企画委員会 国際基準部会

- 柏木 正
9. 浮体式洋上風力特別検討委員会
鈴木英之, 尾崎雅彦, 井上俊司, 大塚耕司, 熊本均, 重見利幸, 赤星貞夫, 小山博之, 今北明彦, 吉本治樹, 湯沢典弘, 今村博, 平林紳一郎, 村井基彦, 飯島一博, 二瓶泰範, 谷澤克治, 小松正夫, 小林正典, 永田修一, 北澤大輔, 多部田茂
10. 海洋開発人材育成構想委員会
佐藤徹, 経塚雄策, 多部田茂, 高木健, 村井基彦, 藤久保昌彦, 大塚耕司, 安川宏紀, 梶原宏之, 上田直樹, 伊東章雄, 岡田哲男, 今北明彦, 川越美一, 吉元博文, 谷澤克治
11. 研究企画委員会
谷澤克治, 松本光一郎, 土井康明, 山下洋一, 青山和浩, 大矢部直樹, 篠田岳思, 松本起宜, 永田修一, 多部田茂, 梶原宏之, 藤原浩二
同, 分野研究企画部会 (性能・運動)
松本光一郎, 土井康明, 村上恭二, 勝井辰博, 田中進, 片山徹
同, 分野研究企画部会 (構造・強度, 材料・溶接)
小川剛孝, 寺井幸司, 後藤浩二
同, 分野研究企画部会 (工作)
大矢部直樹, 井上寛文, 松井省吾, 松本暁, 植松秀明, 舟木雄太, 有菌善智, 村木圭一
同, 分野研究企画部会 (設計・艦装)
西村理, 阿部三十六, 山本正明, 松本起宜
同, 分野研究企画部会 (海洋工学・海洋環境)
多部田茂, 永田修一, 井上俊司, 鈴木英之, 北澤大輔, 吉本治樹
同, 分野研究企画部会 (情報技術)
藤原浩二, 松野二郎, 平木常正, 松尾稔
12. 研究委員会
P-41 「JSQS(艦装関係)2015年版改訂」研究委員会
篠田岳思, 樋口賢二, 奈良圭祐, 古森裕章, 亀山宏治, 足立浩康, 福本峰治, 河本満, 田中敦, 藤田知利, 新名広隆, 福本祐之, 橋口秀紀, 八尋憲一郎, 関口喜仁, 近藤敦, 金子修, 高尾陽介
P-42 PSPC適用船の施工のための裏焼け防止検討研究委員会
篠田岳思, 福田雅之, 福本峰治, 樋口賢二, 橋口秀紀, 奈良圭祐, 田中敦, 福本祐之, 河本満, 古森裕章, 藤田知利, 新名広隆, 亀山宏治, 八尋憲一郎, 関口喜仁, 近藤敦, 金子修, 高尾陽介
P-43 「BCMを用いた船体流場の大規模CFD解析能」研究委員会
土井康明, 中島卓司, 村上恭二, 平田信行, 増田聖始, 勝井辰博, 西垣亮
P-44 海洋エネルギー施設の環境影響評価に関する研究会
北澤大輔, 多部田茂, 黒田桂奈, 大塚耕司, 寺尾裕
P-45 「バラスト管装置設計基準の改訂」研究委員会
阿部三十六, 荒井誠, 稲垣秀彦, 松本起宜, 越智広, 吉永浩志
- S-12 IMO最低出力ガイドライン策定方針研究委員会
安川宏紀, 佐野将昭, 土岐直二, 梅田直哉, 柏木 正, 芳村康男, 松本友宏, 上野道雄, 辻本 勝, 三宅竜二, 松田秋彦, 安藤秀幸, 溝上宗二, 高井道雄, 大森拓也
- JSSC委員会
村山英晶, 渡辺喜保, 大沢直樹, 深沢塔一, 豊田昌信, 安田章宏, 三宅竜二, 寺井幸司

【5】補助金等

当会の諸事業に対する助成として以下の補助金や寄付金を受領した。

1. 業界補助金

- 1) 一般向け講演会活動費

日本造船工業会より	150万円
2) 世界船舶海洋工学フォーラムの開催支援金	
日本海事協会より	400万円
ABS,BV,DNV,GL,LRより	各20万円

2. 寄付金

1) 当会の諸事業に対する寄付金	
日本造船工業会より	175万円
日本海事協会より	40万円

【6】関連団体との協力

1. 日本学術会議
日本学術会議が主催する講演会等を共催した。
2. 日本工学会
CPD協議会の運用等に関連して日本工学会の事業に協力した。また、事務研究委員会の活動に参画した。
3. 日本造船工業会
造船技術者社会人教育の事業、技術士資格に関わる講習会等で日本造船工業会と連携を図った。
4. 海事三学会
日本マリンエンジニアリング学会および日本航海学会との連携を目的として会長懇談会等を行った。また、シンポジウムの企画、合同表彰式、技術者支援事業等で連携を図った。
5. 機械系関連学協会
機械系学協会会長懇談会等に参加し、関連行事に関する連携を図った。

【7】規則

- 1) 定時総会において細則の改訂を決議した。
- 2) 定例理事会において下記内規の改訂を決議した。
 - ・研究委員会に関する内規
 - ・情報管理委員会に関する内規
 - ・日本船舶海洋工学学会倫理規定
 - ・英文論文集及び英文論文集編集委員会に関する内規
 - ・日本船舶海洋工学学会論文集及び論文審査委員会に関する内規
 - ・日本船舶海洋工学学会論文集掲載論文投稿規程

【8】行政庁への提出

- 1) 平成25年6月28日付で内閣府に事業報告、収支決算書を含む下記を提出した。
 - ・平成24年度(第117期)事業報告等に係わる提出書類
- 2) 平成25年7月10日付で内閣府に下記を提出した。
 - ・役員の変更届
- 3) 平成26年3月26日付で内閣府に下記を提出した。
 - ・平成26年度(第119期)事業計画
 - ・平成26年度(第119期)収支予算書
 - ・平成26年度資金調達及び設備投資の見込に関する書類

【9】支部会合

1. 東部支部
定時総会
期日：平成25年5月17日
場所：日本海事協会東京支部会議室
出席者：37名
運営委員会
委員数：横田健二支部長ほか14名
第1回(平成25年5月17日)
場所：日本海事協会東京支部会議室
主要議事：
 - (1) 平成24年度 東部支部事業報告および収支決算報告

- (2) 平成 25 年度 東部支部事業計画および予算
- (3) 平成 25-26 年度東部支部運営委員

第 2 回 (平成 25 年 7 月 12 日)

場所：日本船舶海洋工学会会議室

主要議事：

- (1) 平成 25-26 年度 運営委員および会務委員の役割分担
- (2) 東部支部ワークショップ (運営委員会提案) の企画

第 3 回 (平成 25 年 9 月 13 日)

場所：日本船舶海洋工学会会議室

主要議事：

- (1) 若手研修・意見交換会の実施概要について
- (2) 「海事産業へのお誘い」の実施案について
- (3) 長期休会中の会員への対応について

第 4 回 (平成 25 年 11 月 8 日)

場所：日本船舶海洋工学会会議室

主要議事：

- (1) 東部支部ワークショップの準備状況
- (2) 平成 26 年春季講演会の準備状況

第 5 回 (平成 26 年 1 月 17 日)

場所：日本船舶海洋工学会会議室

主要議事：

- (1) 平成 26 年度 東部支部事業計画案・収支予算案
- (2) 会員資格喪失対象者 (2 年以上の会費未納者)
- (3) 終身会員の推薦 (平成 25 年度) について

第 6 回 (平成 26 年 3 月 7 日)

場所：日本船舶海洋工学会会議室

主要議事：

- (1) 平成 26 年度 東部支部収支予算 (修正案)
- (2) 平成 26 年度 東部支部ワークショップについて

東部支部会務委員会

委員数：鈴木克幸委員長ほか 14 名

支部長を補佐し、支部の運営に関する諸事項を実施した。

第 1 回 (平成 25 年 5 月 10 日)

第 2 回 (平成 25 年 7 月 5 日)

第 3 回 (平成 25 年 9 月 5 日)

第 4 回 (平成 25 年 11 月 1 日)

第 5 回 (平成 26 年 1 月 10 日)

第 6 回 (平成 26 年 2 月 28 日)

2. 関西支部

定時総会

期日：平成 25 年 5 月 17 日

場所：三菱重工神戸造船所

出席者：56 名

商議員会

委員数：池田支部長以下 55 名

期日：平成 26 年 1 月 17 日

場所：神戸クリスタルタワー 出席者：22 名

主要議事：

- (1) 平成 25 年度事業進捗状況
- (2) 平成 26 年度事業計画(案)・予算(案)

運営委員会

委員数：池田支部長以下 17 名

第 1 回 (平成 25 年 4 月 19 日)

場所：中央電気倶楽部 出席者：16 名

主要議事：

- (1) 平成 25 年度定時総会
- (2) 平成 25 年業務日程・業務所掌
- (3) 支部長賞

第 2 回 (平成 25 年 5 月 17 日)

場所：三菱重工神戸造船所 出席者：16 名

主要議事：

- (1) 平成 25/26 年度役員・委員業務日程・業務所掌

第 3 回 (平成 25 年 7 月 12 日)

場所：大阪府立大学 I-site なんば 出席者：17 名

主要議事：

- (1) 会員の住所登録について
- (2) シンポジウム
- (3) セミナー・講習会
- (4) 海岸清掃

第 4 回 (平成 25 年 9 月 6 日)

場所：神戸大学深江キャンパス 出席者：16 名

主要議事：

- (1) 平成 25 年秋季講演会
- (2) 新年特別講演会

第 5 回 (平成 25 年 10 月 11 日)

場所：中央電気倶楽部 出席者：14 名

主要議事：

- (1) 平成 25 年度中間報告
- (2) 海事産業説明会
- (3) 新年特別講演会

第 6 回 (平成 25 年 12 月 13 日)

場所：中央電気倶楽部 出席者：18 名

主要議事：

- (1) 平成 26 年度事業計画案・予算案
- (2) 平成 26 年度若手技術者研修会
- (3) 平成 26 年度海事産業説明会
- (4) 学生会員・若手会員の募集と活動予算

第 7 回 (平成 26 年 1 月 17 日)

場所：神戸クリスタルタワー 出席者：17 名

主要議事：

- (1) World NAOE Forum 2014 計画

第 8 回 (平成 26 年 3 月 12 日)

場所：中央電気倶楽部 出席者：9 名

主要議事：

- (1) 平成 26 年業務日程・業務所掌
- (2) 海事産業説明会

会務委員会

委員数：箕浦委員長以下 14 名

支部長を補佐し、支部運営に係わる諸事項を実施した。

第 1 回 (平成 25 年 4 月 19 日)

第 2 回 (平成 25 年 5 月 17 日)

第 3 回 (平成 25 年 7 月 12 日)

第 4 回 (平成 25 年 9 月 6 日)

第 5 回 (平成 25 年 10 月 11 日)

第 6 回 (平成 25 年 12 月 13 日)

第 7 回 (平成 26 年 1 月 17 日)

第 8 回 (平成 26 年 3 月 12 日)

授賞審査委員会

委員数：深沢委員長以下 7 名

期日：平成 25 年 4 月 19 日

場所：中央電気倶楽部 出席者：5 名

3. 西部支部

定時総会

期日：平成 25 年 5 月 8 日

場所：JR 博多シティ 9F 大会議室 2

議事：

- (1) 役員の承認
- (2) 第8期（平成24年度）事業報告および会計報告
- (3) 第9期（平成25年度）事業計画および予算
- (4) 表彰式

西部支部運営委員会

委員数：経塚雄策支部長ほか24名

第1回（平成25年5月8日）

場所：JR博多シティ 9F 大会議室2

主要議事：

- (1) 平成25年度予算・事業計画について

第2回（平成25年8月6日）

場所：JR博多シティ 9F 大会議室1

主要議事：

- (1) 平成25年度事業計画の詳細について
- (2) 講演会実行委員会の体制について

第3回（平成25年11月8日）

場所：JR博多シティ 9F 大会議室2

主要議事：

- (1) 平成25年度事業報告（含状況報告・費用報告）
- (2) 平成26年度事業計画案

第4回（平成26年1月15日）

場所：リファレンス駅東ビル 4F 会議室G

主要議事：

- (1) 平成26年度事業計画案
- (2) 西部支部運営委員交代の件
- (3) 西部支部規則・細則修正案について

第5回（平成26年3月26日）

場所：JR博多シティ 9F 大会議室2

主要議事：

- (1) 平成25年度決算報告
- (2) 平成25年度事業報告
- (3) 次期支部役員について
- (4) 西部支部規則・細則修正案について